

会議録

会議の名称	第4回加東市総合計画審議会		
開催日時	平成29年10月24日（火）午前9時30分～午前11時30分		
開催場所	加東市役所2階 201会議室		
議長の氏名	（会長 梅野巨利）		
出席及び欠席委員の氏名			
＜出席委員＞			
・池田 康	・神戸 賢吾	・下山 絹子	・竹内 貞美
・田中 和美	・藤井 信孝	・山本 直樹	・梅野 巨利
・須田 康之	・藤原 壽郎	・依藤 栄一	・高瀬 久史
・橋本 匡史	・林 山祐子	・藤本 和之	・吉田 実宏
＜欠席委員＞			
・友藤富士子	・三木 秀文	・横山 和夫	・藤井 悦雄
出席した市の職員【事務局等】の氏名及びその職名			
・副市長 吉田秋広	・協働部長 時本敏行		
・協働部企画協働課長 長谷川茂	・協働部企画協働課副課長 下岡正裕		
・協働部企画協働課主幹 小林寿泰	・協働部企画協働課主事 戸田紘平		
市の職員【事務局以外】			
・議会事務局長 芹生修一	・総務部長 堀内千穂		
・市民生活部長 芹生泰博	・福祉部長 丸山芳泰		
・地域創造部長 藤川憲二	・まち・農整備部長 阿江孝仁		
・上下水道部長 利山尚由	・会計管理者 松本和久		
・教育委員会事務局参事兼学校教育課長 藤原路寛	・病院事業部事務局長 大橋武夫		
・協働部秘書広報課長 西山修三	・協働部防災課長 肥田繁樹		
・総務部総務課長 長田徹	・総務部財政課長 広西英二		
・総務部税務課長 三木秀仁	・市民生活部市民課長 柳博之		
・市民生活部保険・医療課長 鈴木敏久	・市民生活部生活課副課長 井澤彰子		
・市民生活部健康課長 細川公代	・福祉部社会福祉課長 陰山芳輝		
・福祉部高齢介護課長 藤井康平	・福祉部子育て支援課副課長 菅野勇一		
・地域創造部まち未来課長 小林勝成	・地域創造部農林課長 柏木和博		
・地域創造部商工観光課長 田中孝明	・農業委員会事務局長 土肥彰浩		
・委員会事務局長 内藤修三	・教育委員会事務局教育総務課長 大橋博英		
・教育委員会事務局学校教育課発達サポートセンター所長 山本京子	・教育委員会事務局人権教育課長 大西祥隆		
・教育委員会事務局生涯学習課長 芹生和也			
・教育委員会事務局中央図書館長 大橋正明			
1 議 題			
(1) 第2次加東市総合計画前期基本計画（素案）について			
(2) 第2次加東市総合計画基本構想等（素案）について			
(3) その他			
・今後の予定について（第5回審議会、その他）			
2 会議資料			
（資料1）第2次加東市総合計画前期基本計画（素案）			
（資料2）第2次加東市総合計画に関するアンケート結果報告書（単純集計結果）《速報値》			
（資料3）第1・2回加東市総合計画審議会に係る意見等に対する考え方等について【基本計画関係分】			
（資料4）第2次加東市総合計画基本構想等（素案）			
（資料5）第1・2回加東市総合計画審議会における意見等に対する考え方について【基本構想関係分】			
3 会議の経過			
⇒別紙「第4回加東市総合計画審議会・会議の経過」のとおり			
平成30年 1 月 26 日			
会 長	梅 野 巨 利		
副会長	三 木 秀 文		

(別紙) 第4回加東市総合計画審議会・会議の経過

発言者	会 議 の 経 過 / 発 言 内 容
<p>委員</p> <p>教育委員会事務局参事</p> <p>協働部長</p>	<p>1 開会 2 会長挨拶 3 協議事項 (1) 第2次加東市総合計画前期基本計画(素案)について(資料1) 政策Ⅶ・Ⅷ、その他部分を各政策担当者、事務局から説明 【質疑応答等】 ◆ P109(48) 新たな行政需要に対応した施策の展開、P115(51) 国際交流の推進 について ・加東市は外国人が多いと感じるが、日本語が話せない外国人の子どもに対する教育体制は十分に整っているのか。 ・オリンピア市との国際交流について、どの程度、財源を費やしているのか。 ・昔に比べて外国人の子どもが増えており、急な入学が多い中で、緊急対応として、県教育委員会から、英語やスペイン語などに対応できる多文化共生サポーターに来ていただいている。また、週に1~2日の対応にはなるが、兵庫教育大学の留学生にも協力していただいている。その他は、学校の教員が対応している状況である。 ・平成28年度決算における当該事業の支出は637万円となっている。年度により多少の差異はあるが、毎年、同程度の予算額で、主に委託先の国際交流協会、交換留学などの実施や在住外国人の方への対応をしていただいている。今年から日本語教室を行っており、開講当初は10人程度であったが、最近では40~50人の方が参加されている状況である。</p>
<p>委員</p> <p>防災課長</p> <p>協働部長</p>	<p>◆ P125(56) 消防・防災力の充実強化 について ・P125~126において、昨今話題となっている北朝鮮のミサイル問題について、市民に対して、各方面でどのように情報を伝えるのかということが検討されている中で、一過性のことならいいが、今後も続くようであれば対策を記載するべきではないか。 ・北朝鮮のミサイル問題については、P125の「将来あるべき姿」のところに「有事に際しての役割を認識」として記載しているが、具体的な取組を示していないので、追加修正する。 ・ミサイルへの対策としては、市のホームページで、ミサイル発射の際にJアラートが鳴ることやJアラートが鳴ればどのような行動をとるべきかなどを周知している。加えて、確実にJアラートを聞いていただけるように防災行政無線の設置率向上に努め、情報をできるだけ迅速に市民に伝えるよう対応したいと考えている。 ・補足すると、P125の「将来あるべき姿」の1行目に「本市で生活を営む人々が災害や有事に際しての役割を認識し」と「有事」の文字を入れているが、その取組を具体的に示していないので、いただいたご意見を踏まえて書き入れたい。</p>
<p>委員</p> <p>企画協働課長</p> <p>委員</p> <p>企画協働課長</p>	<p>◆ P113(50) シティセールスの推進 について ・P114の指標「シティセールス実施回数」で基準値が3、目標値が5となっているが、どのような考えか。 ・現在、関東圏でシティセールスを行っており、今年の実績で2~3回行っている状況である。今後、年5回は関東圏において加東市をPRしたいと考えている。 ・関東圏からの定住希望者を加東市に呼び込みたいという目標なのか。 ・兵庫県は転出者が非常に多く、転出先で最も多いのが関東圏であるため、県全体で関東圏から人を呼び戻そうという取組を行っている。関西圏でも取組を行っているが、特に関東圏に力を入れたいと考えており、指標の数値は関東圏での活動を挙げている。</p>
<p>委員</p>	<p>◆ P125(56) 消防・防災力の充実強化 について ・先日の台風で、「避難準備・高齢者等避難開始」が23時49分に発令されたが、暗闇の中で市民が安全に避難できるという保証はないと思う。そのことにつ</p>

防災課長	<p>いてどのように考えているのか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・また、夜中の1時半頃に「避難勧告」が出たが、この時間に逃げるのは難しい。どのように安全に逃げたらいいのか、地域の公民館に逃げても大丈夫なのかなどの情報を大型台風が来る前だけでなく、台風当日も災害で慌てて忘れてしまいがちになるので連絡してほしい。高齢者は遠い避難所よりも地域の公民館など近い場所の方が避難しやすいと思うので、その辺りも整備していただきたい。 ・先日の台風で、加東市では「避難勧告」を出したが、どのような災害でも早めに避難するのが基本であるので、防災行政無線や安全安心メールで準備をしてもらうように情報を流し、心構えをしていただくようにしている。 ・今回の台風は、あまり雨量が多くなかったため、避難勧告を出す想定ではなかったが、予想以上に河川の水位が上がったため、最終的に避難勧告を出すことになった。できる限り早く市民の皆様に状況を伝える体制を整えた上で、明るいうちに避難していただけるように対応していきたい。 ・避難所については、過去の浸水の記録を基に指定しており、そこに備蓄品を置いているため、まずはその場所に避難していただく体制を取っている。今後は、今まで経験したことのない大きな被害も発生すると予測される中で、現在の指定避難所より安全な避難所も検討しながら対応をしていきたいと考えている。
委員	<p>◆ P 1 2 3 (5 5) 交通安全・防犯対策の推進 について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・P 1 2 4 の指標「③防犯カメラ設置台数」で、近年、防犯カメラの映像が犯人検挙に役立っているので、防犯カメラの設置を積極的に行っていただきたい。具体的にはどういうところへの設置を検討しているのか。また、将来的にはどのような計画としているのか。
防災課長	<ul style="list-style-type: none"> ・指標に挙げている防犯カメラは施設外に設置している台数で、平成28年度までに62台設置しており、平成29年度には7台の設置を見込んでいますので、平成29年度末には69台になる予定である。 ・今後は、年間10台程度の設置を考えている。犯罪の立証や抑制につながるため、これまでに犯罪が起こった場所や危険だと思われるところ、市民から要望があった箇所などを基に設置場所を検討し、計画的に設置していく予定である。
委員	<p>◆ P 1 3 1 (5 9) 健全な財政運営 について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ふるさと納税に関して、岩手県の例で、ふるさと納税の返礼品で扱った特産品が全国的に有名になったという話があるが、加東市もそのようなものができることで産業の振興につながると思う。今のふるさと納税はどのようなものを特産品として扱っているのか。
総務課長	<ul style="list-style-type: none"> ・当初は様々な返礼品の取扱いが可能であったが、国から換金性の高い返礼品は自粛するよう通知があり、それを踏まえて、加東市では9月末で76品目を用意している。 ・返礼の実績は7割ほどが「瀬祭」を含む日本酒である。その他の返礼品としては、加東市の米や桃、ブドウ、山の芋、播州織のストール、ゴルフ場のプレイ券などがある。
委員	<p>◆ P 1 3 3 (6 0) 適正な財産管理と契約事務の推進 について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「②透明で質の高い契約事務」において、一部公共工事の入札の時に「同等品」と表示されていることが多く、同じ成分や構造のものを使うことと記載されると、結果的に1つの製品に限定され、それが使えなければ公平性が失われると思う。そのことについてどう考えているのか。
財政課長	<ul style="list-style-type: none"> ・設計書については、公共事業であるため、業者指定は避けているが、どうしても限定しなければならない場合もあり、それが市民に理解していただけるのであれば、品物を指定する。一方、広くあるものについては「同等品以上」として、誰もが参加できるよう機会を確保している。これらのことについてご理解いただきたい。
<p>(2) 第 2 次加東市総合計画基本構想等 (素案) について (資料 4) 事務局から説明 【質疑応答等】</p>	

委員	◆ P 4 5 メインテーマについて
協働部長	<ul style="list-style-type: none"> ・ P 4 5 のメインテーマ「山よし！技よし！文化よし！夢がきらめく☆元気なまち 加東」は現計画でも表紙に載っているが、このまま維持されて、中の文章で「美しい湖水(うみ) 独自の産学 伝統ある文化 どこかが違う ふる里 加東」を取り上げていくという主旨なのか。 ・ メインテーマについては、加東市が誕生する合併協議の中でできたテーマだと理解しているが、「山よし！技よし！文化よし！夢がきらめく☆元気なまち 加東」という将来像がこの 1 0 年間で完成したとは言い難いと考えており、当初の思いと現在の状況を踏まえ、このテーマを引き継ぐ必要があるとして提案させていただいた。第 2 次総合計画を進める途中で、テーマの見直しは容易ではないので、このような意見があったことを敢えて計画の中に盛り込み、第 3 次総合計画策定時に検討していきたいという思いである。
委員	◆ P 4 6 人口の将来展望における目標人口について
企画協働課主幹	<ul style="list-style-type: none"> ・ P 4 6 の人口の将来展望において、人口減少が当たり前の中で目標人口 4 0, 0 0 0 人以上となっているが、4 0, 0 0 0 人という数字の根拠はあるのか。例えば、人口減少する中で 4 0, 0 0 0 人を維持しようという目標なのか、もっと多くの人に定住してもらうことを目標にサービスを拡張していくのか、4 0, 0 0 0 人であれば健全財政が維持できる見込みなのか、などどのように考えているのか。 ・ 前提条件として「本市を取り巻く社会潮流」の P 2 5 に将来推計人口を掲載しており、平成 2 7 年国勢調査結果を国の推計手法に準拠した形で推計を行った結果、平成 5 2 年に 3 5, 9 2 0 人となる見込みである。 ・ P 4 6 の人口推計では、前述の推計と 1, 0 0 0 人以上の開きがあり、その差をどのように埋めていくかというところである。まず、地域創生などの取組によって、子どもを安全に生み、育てることができる環境整備に力を入れ、合計特殊出生率 1. 6 8 を維持していく。また、平成 2 7 年と平成 2 2 年の国勢調査結果を比較すると見える社会増の傾向を、市の魅力を向上させて人を呼び込み、増加傾向をできる限り長い間維持するという前提で、平成 3 7 年まで社会増を反映させて推計した数字が 3 9, 5 0 0 人である。1 つの取組ではなく、全体的な取組を踏まえて 3 9, 5 0 0 人、きりのいい数字として 4 0, 0 0 0 人以上を目標にしたいと考えている。
協働部長	<ul style="list-style-type: none"> ・ 補足すると、加東市は、財政力指数をはじめ、様々な財政指標において、北播磨圏域の中で上位である。それは人口 4 0, 0 0 0 人という要因に加え、地形的な要因や工業団地、商業関係の状況などによるためであると認識している。 ・ 全国的に人口減少が問題なのは、生産年齢人口の減少が税収の減少につながり、行政が維持できなくなることが大きな要因であると考えており、そのような観点からも、4 0, 0 0 0 人を維持したいという思いである。
委員	◆ P 4 7 北播磨エリアの連携について
企画協働課主幹	<ul style="list-style-type: none"> ・ P 4 7 の「都市構想」のところで、北播磨エリアの中核都市という考え方が示されているが、北播磨を構成する小野市、西脇市、加西市などには同じような課題があると思うので、それらとの連携や役割分担、協働等の働きかけについては書き入れられないか。 ・ ハード的な内容も踏まえて、P 5 4 の下から 5 行目に「北播磨広域定住自立圏をはじめとする近隣市町との連携による広域行政の推進」と示している。北播磨広域定住自立圏については、加西市と加東市が中心市、西脇市と多可町が近隣市町という位置づけであるが、それだけではなく、他市とも連携しながらハードとソフトの両面で取組を推進したいと考えている。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・ 人口が増えれば住民の声も力も増すので、重点的に取り組んでいただきたい。
委員	◆ P 3 6 市民意識調査の回答者の年代について
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・ P 3 6 の「市民意識調査(アンケート)」の結果で、「住みよさの推移」が出ており、「住みよい」「どちらかといえば住みよい」の割合が出ているが、回答している人の年代はわかるのか。少子高齢化の中で、高齢者の多くがそのような回答をしているのであれば問題が浮き彫りになると思うし、2 0 ~ 4 0 代の人が多け

企画協働課主幹	<p>れば、担い手などの問題にも明るい展望が見えると思うがどうか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・総合計画の中ではこの部分を年齢別に示していない。加東市全体の意識を知るために、アンケートは、年代別の人口構成比に合うような形で回収したいと考えて実施している関係上、市民全体を捉えた結果として表示している。 ・年齢別に数値を出すことは可能で、資料編の中で市民アンケートの概要を示す予定にしており、その中で掲載を検討したい。
委員	<p>＜基本計画 政策Ⅶ、Ⅷ、その他、基本構想について＞【(1)、(2)を総じて】</p> <p>◆ 資料１ Ｐ３ 総合計画（基本計画）の体系ごとの関連個別計画について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「地域資源を活かしたにぎわいや活力があふれるまち」の政策で、農業・森林関係が多いが、第３次産業をはじめとした産業面の記載が薄いのではないかと。創業支援事業計画の記載があるので、経済産業省が平成２９年７月頃に発表した新産業構造ビジョンを書き加えるのがいいのではと思う。
企画協働課主幹	<ul style="list-style-type: none"> ・ここは個別計画を掲載する位置づけの中で、本来であれば基本計画に基づいて策定するものが個別計画であるが、それらと関連する他団体の計画も含めて整理させていただいた上で、掲載するか検討させていただきたい。
委員	<p>◆ 資料１ Ｐ１２５（５６）消防・防災力の充実強化 について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・中高生の通学路の街灯をはじめ、防犯上の街灯の整備が十分ではないと感じる。交通防犯体制の強化において市としての関わりはあるのか。
防災課長	<ul style="list-style-type: none"> ・防犯灯の整備については、地区の要望などを基に計画的に整備しており、基本計画内にも引き続き設置していくと示している。
委員 防災課長	<ul style="list-style-type: none"> ・防犯灯と街灯は同じ認識でいいのか。 ・街灯は基本的に道路に設置するもので、防犯灯は人が通行する道を防犯上明るくする意味合いで設置するものである。
委員	<p>◆ 資料４ Ｐ５０ 住みよさと「ひとづくり」「くらしづくり」について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・Ｐ５０の「ひとづくり」の（１）に「国際交流事業の推進により豊かな国際感覚をもった市民を育成します」とあるが、例えば、具体的な事業としては、オリンピックとの交流事業の中でホームステイし、英語を学ぶなどがあると思う。Ｐ３７では、交通手段の確保や医療体制の充実、雇用の確保が大きな課題となっており、それに対してＰ５１の（１）に医療体制、（２）に産業の振興についての構想が示されているが、具体的にどのようにしていくのか。その構想と具体的方法がどのような関係になるのか。
企画協働課主幹	<ul style="list-style-type: none"> ・Ｐ３「計画の構成と期間」に記載しているが、「基本構想」で「本市の目指すべきまちの将来像、まちづくりの方向性等」を示していく。それを実現するためにどのような政策（施策）をするのかを示したものが５年スパンの「基本計画」である。それをさらに具体的に、事業レベルでどのように実施するのかを示したものが３年間の「実施計画」で、１年ごとのローリングで定める。このように計画の役割分担については、「基本構想」で取り組んでいく方向性や方針などをまとめ、具体的な政策（施策）は「基本計画」で定めることとしている。
委員	<p>◆ 資料１ Ｐ４ 重点戦略について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・Ｐ４の「重点戦略１ 力強い産業としごとづくり」として「①産業の振興」と「②雇用の創出」が挙げられているが、同ページ下部の「分野別施策（政策）との関係」の重点戦略の「１ 力強い産業としごとづくり」の欄を見ると「Ⅳ 地域資源を活かしたにぎわいや活力があふれるまち」にしか○が入っていない。Ⅳの内容であるＰ３の最上段は、農業・森林関係が主であり、新産業や３次産業、雇用創出の内容の記載が少ない。個別計画の記載がない中で、産業の振興や雇用の促進に取り組めるのか。
商工観光課長	<ul style="list-style-type: none"> ・Ｐ５に詳細を記載しており、「①産業の振興」の関連主要施策に「創業支援」、「②雇用の創出」の関連主要施策に「企業誘致等の促進」「事業承継支援」「地元就労の促進」などを挙げており、これらの施策の展開により取り組んでいく。
委員	<p>◆ 審議内容について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・先ほど基本構想、基本計画、実施計画について説明があったが、「実施計画」はこの会議で協議しないのか。

企画協働課主幹	<p>・ 総合計画審議会で審議していただくのは基本構想、基本計画までと考えている。</p> <p>4 その他</p> <p>(1) 今後の予定について</p> <p>・ 第5回審議会：1月26日(金)午後 2時～午後4時（予定） 市役所2階 201会議室 内容：パブリックコメント等の結果について、答申について</p> <p>・ パブリックコメント(予定)：11月中旬から12月下旬までの間（30日間）</p> <p>・ 意見等の提出期限：10月31日(火)</p> <p>5 閉会</p>
---------	---